

平成24年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		社会福祉法人 武蔵野						
①	指標名	高齢者・身体・知的障害者の施設の定員に対する1日平均利用者数(利用率)			目標値	100%以上	実績値	92.7%
	過去の実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成率	92.7%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> ・達成
	(単位: )	92.4%	88.0%	92.7%				
	取組内容	※24年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①特別支援学校へ職員訪問の他、在学生徒家族を対象に障害者総合センター内施設見学会を6日間に渡り実施するなどし、早めに通所希望者を募集した。 ②入退所の空白期間を少しでも短縮するように、市のケースワーカーや関係機関職員等との連携に努めた。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①障害者総合センター内、けやき・大地で新規利用者が各2～3名増え利用率が上がり、山びこ・ふれあいはほぼ前年並みの利用率を確保した。特に生活介護事業の山びこ・大地は、特別支援学校卒業生の利用希望が増加しており、施設のキャパシティを超えてきているため、今後施設の再編も視野に入れた受け入れ態勢の拡充を図っていく。 児童発達支援ウィズは、虚弱な児童が多くなかなか利用率が上がらない為、利用登録児の増加に努める必要がある。 ②高齢者施設では、桜堤ケアハウス、ゆとりえとも入所者の逝去や入院に伴う退所が多く利用率が低下したので、新規利用者の入所をより円滑に進め空床期間を極力短縮していく。						
二次評価	虚弱な児童が多いことや高齢者の入院等が原因で、利用率に影響が生じていることは理解する。一方で、生活介護事業においては、利用希望の増加により、施設のキャパシティを超える状況もあるので、障害者総合センター内の通所系サービスの再編により、定員枠の確保に努められたい。							
②	指標名	介護保険・自立支援費等収入			目標値	790,000千円	実績値	822,148千円
	過去の実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成率	104.1%	達成状況	未実施・未達成・ <del>達成</del>
	(単位: )	732,407	772,076	786,145				
	取組内容	※24年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①障害者施設利用の説明を関係機関には訪問により、利用者家族には見学会として行い、利用者の増加に努めた。 ②利用者の空白期間を長く作らないようスムーズに利用開始できるように努めた。 ③インフルエンザやノロウイルスなどにより集団感染を起こして長期施設閉鎖にならないよう、衛生管理の強化を継続した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○障害者各施設は、ウィズを除き、前年度より増収とすることができた。ただし、すばるはまだ定員に対する余裕があり、利用者の増加に努めて行く。また、ウィズは、登録児を増やすとともにニーズに合ったプログラム等、支援方法を研究し利用日数の増加に努めて行く。 ○高齢者施設は、全体では前年度より増収となったが、ゆとりえ特養は退所者の増加により減じたため、新規入所者の迅速な受け入れ態勢を整えて行く。また、桜堤居宅支援事業所のケアプラン作成費が300万円程減じたが、職員の途中退職や長期病休によるもので、25年度には職員体制を安定させる。						
二次評価	目標達成を評価する。今後も各事業の採算性を重視した事業運営を促すことで、財政基盤の強化を図ること。							
③	指標名	人件費率の縮小 (正規職員の抑制及び臨時職員待遇改善と効果的な人事給与制度の確立)			目標値	68%	実績値	69%
	過去の実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成率	98.5%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> ・達成
	(単位: )	71%	68%	71%				
	取組内容	※24年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ○以前から正職員の臨時職員化を進め、正職員の削減を行ってきた。事業の拡大に伴い、正職員を増員せざるを得ない場合もあるが、正職員は真に必要な人員に限定し、できる限り臨時職員の活用や業務委託を検討する。 ○正職員と臨時職員の業務内容の差がなくなってきている状況をかんがみ、より公平性を期すため、正職員は給与表の伸びを抑え、臨時職員の処遇などを見直す(臨時職員から嘱託職員への登用、臨時職員の時給の適正化、介護職員処遇改善加算を原資とした特別手当の支給の継続)						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○前年度に改定した人事給与制度による人件費抑制の効果が少し現れるとともに、設立20年を経て若い職員を育成していく必要から新卒者を積極的に採用し中途退職職員の補充に充てるなどした結果、前年度対比2ポイント人件費率が下がった。しかし、ゆとりえ・武蔵野福祉作業所でサービスの質の確保から正職員の配置を行ったためもあり、目標値は達成できなかった。引き続き組織の若返りを図るとともに、超過勤務の削減等件費の削減に取り組む。 ○新たな人事評価制度を本格実施するとともに、昇任試験実施により意欲ある職員の登用を行う等、人材育成・組織体制の強化を図った。 ○臨時職員に処遇改善助加算を原資に特別手当を支給し、引き続き待遇を改善した。						
二次評価	引き続き、人件費率の縮小に向け、努力されたい。また人事評価とリンクした人事給与制度導入により職員の意欲向上を図ること。							